

# 四季報写経ウーマンの 厳選銘柄8



「会社四季報」に出会って人生が変わった」と語る四季報写経ウーマンさん

「投資家のバイブル」とも言われる『会社四季報』（東洋経済新報社）を、毎日コツコツ写経し続ける女子大生がいる。気が遠くなるような作業を通じて彼女が見つけた「隠れた優良企業」とは。

＊

「もともと数字の裏側を考えた、数字を元に仮説を立てたりするのが好きでした。四季報の写経を続けるうちに、ビジネスの移り変わりを俯瞰できるようにになってきたように思います」

そう語るのは、株式会社四季報写経の代表を務

め、「四季報写経ウーマン」の名前で活動する現役女子大生だ。

日本の上場企業約4000社を網羅し、2000ページをゆうに超える『会社四季報』を毎朝4時に起きて黙々と写経し続けているという。

「きっかけはビジネスプロデューサー・山川隆義さんの著書『瞬考』（かんき出版）に出会ったこと。そこで四季報写経を知ったのですが、具体的な方法が書かれていなかった分、試行錯誤しながら自分なりのやり方を確立していきました。現在はS

NSを通じて四季報写経の「布教」やイベントの開催などを行なっています」（四季報写経ウーマンさん。以下「内は同じ」）

写経といっても、使うのは紙や筆ペンではなく「Excel」。そこに会社名と4ヶタの証券コード、創業年と上場年、業種、時価総額などの企業プロフィール、事業の種類や海外売上比率など計19項目を入力していく。

「ただ転記するのではなく、沿革を見ながら書く。現代のニーズを捉える。伸びしろ期待企業を続々発見！」

## 思わず「なぜこの企業が!?」

今年3月に四季報写経を開始し、現在までに2100社を書き写したという四季報写経ウーマンさん。修行のなかで、現代社会のニーズをうまく捉えたユニーク企業がいくつか見つかったと話す。

そのひとつがスマサポ（東証グロス・9342）。不動産会社の経営企画部門から生まれた会社で、19年に独立した。

「不動産管理会社と入居者をつなぐサービスを展開して。マンションの新規入居者の電気・ガスの申し込みなどを無料で請け負い、ネット回

線に対する利益の比率」とROE（自己資本に対する利益の比率）など数字の意味も見えてくる。なでこれが売れているの？といった疑問や板説が次々に湧き、解決していくことの繰り返し。やればやるほど楽しくなるのが魅力です」

こうして四季報にある膨大な情報を自分の中にストックしていくことで、その企業の意外な成り立ちや強みを知り、会社同士の数字の比較もできるようになるという。

## 四季報写経ウーマンが注目する8つの企業

| 企業名              | 株価    | 解説                                           |
|------------------|-------|----------------------------------------------|
| スマサポ (G9342)     | 912円  | 不動産管理会社と入居者をつなぐサービスを展開。ネット回線などの紹介手数料で儲ける     |
| JSH (G150A)      | 470円  | 障害者雇用促進法を基に障害者と企業を仲介し、障害者の就労支援ビジネスなどを展開      |
| キッズスター (G248A)   | 1420円 | 実在する企業の仕事内容などをゲーム形式で体験できる幼児向け知育アプリが主力        |
| カチタス (P8919)     | 2160円 | 中古戸建て再生事業を全国展開。業績は堅調に推移し、25年3月期も増収増益を見込む     |
| スタメン (G4019)     | 802円  | 社内SNSサービス「TUNAG（ツナグ）」を提供し、その利用企業は1000社を突破    |
| Sansan (P4443)   | 2168円 | 名刺管理サービス「Sansan」に加えて、請求書管理サービス「Bill One」も高成長 |
| ジャストシステム (P4686) | 3510円 | ソフト開発会社から多角化を図り、通信教育サービス「スマイルゼミ」の開始で急成長      |
| 丸井グループ (P8252)   | 2464円 | 主力事業を商業施設「マルイ」の小売りから金融などのフィンテックに転換して躍進       |

P＝東証プライム市場、G＝東証グロス市場。株価は12月19日の終値。単元株数100株

線やウォークターサーバイなどの契約時に、サービス提供会社から顧客紹介料を取って利益をあげる。面白いビジネスモデルだと感じました」

スマサポのサービスは管理会社にも入居者にも

メリットが大きく、24年9月期決算は売上高26億円と過去最高を更新した。次に名前が挙がったのは、JSH（東証グロス・150A）。今年3月に新規上場したばかりだ。「障害者と企業を仲介す

るサービスを展開しています。障害者雇用促進法に基づいて、従業員40人以上の民間企業には従業員の2・5％は障害者を雇用する義務があります。が、実現が難しい企業も多い。そのニーズに応えていると感じました」

JSHは九州各地に農園を持っていて、その農園で働いている障害者を契約企業が雇用。障害のある従業員が作った農作物を食堂で提供したり、福利厚生面で活用したりする。ダイドーやDeer I、東映などの大企業が契約を結んでいます」

キッズスター（東証グロス・248A）は幼児向けの知育アプリを展開する企業だ。「面白いのが『こころ』というアプリで、実在する企業やブランドの仕事内容をゲーム形式で体験できる。例えばお弁当チェーンの『ほっともっと』で弁当作りを体験できたりするんです」

「面白いの、このアプリで、実在する企業やブランドの仕事内容をゲーム形式で体験できる。例えばお弁当チェーンの『ほっともっと』で弁当作りを体験できたりするんです」

親子で楽しむことができるうえ、参加企業にとっては認知度を高め、ファンを増やすメリットがあるという。

「カチタス（東証プライム・8919）は、地方の古く一戸建ての再生という一見儲からなさそうな事業を全国展開しています。が、売上高は右肩上がりです。24年3月期は1267億円。その秘密は25年分の膨大なデータの蓄積で、物件仕入れの目利きに活かしている」

写経をしながら、思わず「なぜこの企業が？」と首をひねったのが、スタメン（東証グロス・4019）だった。企業の社内SNSサービス「TUNAG」を開発・販売しており、同サービスの導入企業は今年11月時点で1000社を超えた。

「社内SNSにそこまでニーズがあるとは思わず、調べてみると飲食や物流系の企業で利用されていることがわかりました」

人手不足が続くなか、アルバイトの採用には高いコストがかかる。すぐに辞められてしまうとなおさらです。そこで社員同士のコミュニケーションが促進されるようなツールを入れること、離職率が下がるそうです」

四季報写経ウーマンさんが注目する企業計8社を表にまとめた。

投資支援サービスを展開する株式会社マーケットバンク代表・岡山憲史氏は、四季報写経ウーマンさんが挙げた銘柄に唸ったと明かす。

「時代の流行やニーズを捉えた、隠れた優良企業ばかりです。一般的な投資家が見逃しがちな企業が並んでおり、女子大生ならではの感性に加え、四季報写経で培った「企業の裏側」を読む分析力の賜物だと感じます」

四季報の写経は「まだまだ続ける」と話す彼女。これからどんな優良銘柄を見つめるのか。